

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書		第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	算数 101, 算数 102 算数 201, 算数 202 算数 301, 算数 302 算数 401, 算数 402 算数 501, 算数 502 算数 601
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標, 内容等				<p>○ 数と計算については, 次のような学習活動を取り上げ, 目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 水槽に入れる魚の数を数えたり, 絵を見てひき算の話を作ったりする活動を通して, 整数の加法や減法の意味を理解するとともに, 計算の仕方を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 乗り物に乗っている人数を求めたり, 求める式を立てたりする活動を通して, 乗法が用いられる場合とその意味を理解するとともに, 計算の仕方を探察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ クッキーを同じ数ずつ分けたり, パイを何人に分けられるかを求めたりする活動を通して, 整数の除法の意味を理解するとともに, 計算の仕方を探察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ ポットとやかんに入った水の量の合計を求めたり, 2本のテープを合わせた長さを求めたりする活動を通して, 小数や分数の意味を理解するとともに, 計算の仕方を探察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ リボンの代金を求めたり, 鉄の棒1mの重さを求めたりする活動を通して, 小数の乗法や除法の計算の意味を理解するとともに, 計算の仕方を探察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ ペンキで塗る板の面積を求めたり, 針金の重さを求めたりする活動を通して, 分数の乗法や除法の計算の意味を理解するとともに, 計算の仕方を探察する力を育成する。</p> <p>○ 図形については, 次のような学習活動を取り上げ, 目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 似ている形を集めたり, 色板でいろいろな形を作ったりする活動を通して, 図形についての感覚を豊かにするとともに, 形の特徴を捉え, 形の構成を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 紙を折って長方形の特徴を調べたり, 紙を切って正方形を作ったりする活動を通して, 基本的な図形の特徴を理解するとともに, 平面図形の特徴を捉え, 考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ いくつかの三角形を仲間分けしたり, コンパスを使って二等辺三角形をかいたりする活動を通して, 基本的な図形の特徴を理解するとともに, 平面図形の特徴を捉え, 考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ いくつかの四角形を仲間分けしたり, 平行四辺形をかいたりする活動を通して, 平面図形を理解するとともに, 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し, 考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ 形も大きさも同じ図形を選んだり, 合同な三角形のかき方を考えたりする活動を通して, 図形の意味と性質を理解するとともに, 図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し, 考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 複数の図形を仲間分けしたり, 同じ形に見える図形を見付けたりする活動を通して, 図形の意味を理解するとともに, 図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し, 考察する力を育成する。</p> <p>○ 測定については, 次のような学習活動を取り上げ, 目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 2本の鉛筆の長さを比べたり, ペットボトルの水の量を比べたりする活動を通して, 数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに, 量の大きさの比べ方を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 鉛筆の長さを測ったり, はがきの横と縦の長さを測ったりする活動を通して, 量の概念を理解するとともに, 量の単位を用いて的確に表現する力を育成する。</p> <p>第3学年～ 電池とコンパスの重さを比べたり, はかりを使って筆箱の重さを測ったりする活動を通して, 量の概念を理解するとともに, 量の単位を用いて的確に表現する力を育成する。</p> <p>○ 変化と関係については, 次のような学習活動を取り上げ, 目標を達成できるようになっている。</p>

	<p>第4学年～ 2つの時刻の関係を表や式に表したり、表の見方について考えたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ うさぎ小屋の混み具合を比べたり、米の取れ具合を考えたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 水の深さと時間の変わり方を考えたり、画用紙の枚数から重さを求めたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力を育成する。</p> <p>○ データの活用については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 海の生き物を種類ごとに縦に並べたり、個数の分だけ色を塗ったりする活動を通して、量の大きさを簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともに、データの個数に着目して捉える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 休み時間の過ごし方を表に表したり、表やグラフから分かることを考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴に着目して考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ けがをした時間を表やグラフに表したり、グラフから分かることを考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴に着目して考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ 気温の変化をグラフに表したり、グラフから特徴を捉えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ 好きな給食の割合をグラフに表したり、2つのグラフから分かることを考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 縄跳びの回数のデータを整理したり、データから分かることを考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して批判的に考察する力を育成する。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 加法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、和が10より大きい数になる加法の計算方法について考え、操作や図を使った考え方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 乗法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、箱の中のお菓子の数の求め方について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～ 乗法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、かけられる数が10より大きい乗法の計算の仕方について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第4学年～ 数量の関係を表す式の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、●の数の求め方について考え、図や式を使った考え方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5学年～ 平面図形の性質の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、4つの角の大きさの和の求め方について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第6学年～ 円の面積の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、円の一部の面積の求め方について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 個数や順番を数える学習の後に、1位数の加法や減法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 2位数の加法や減法の学習の後に、乗法が用いられる場合とその意味の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 3位数に1位数をかける乗法の学習の後に、除数が1位数で商が2位数の除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 2位数の除法の学習の後に、小数の乗法や除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 小数の乗法や除法の学習の後に、異分母の分数の加法や減法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 分数の乗法の学習の後に、分数の除法の意味の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>

	<p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「数と計算」は131ページ、「図形」は13ページ、「測定」は17ページ、「データの活用」は5ページであり、総ページ数は173ページで、前回より約6%増となっている。(判型はA4及びB5判)</p> <p>第2学年～ 「数と計算」は139ページ、「図形」は19ページ、「測定」は36ページ、「データの活用」は4ページであり、総ページ数は258ページで、前回より約10%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第3学年～ 「数と計算」は153ページ、「図形」は29ページ、「測定」は30ページ、「データの活用」は15ページであり、総ページ数は298ページで、前回より約10%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第4学年～ 「数と計算」は171ページ、「図形」は78ページ、「変化と関係」は13ページ、「データの活用」は19ページであり、総ページ数は322ページで、前回より約11%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第5学年～ 「数と計算」は85ページ、「図形」は85ページ、「変化と関係」は43ページ、「データの活用」は23ページであり、総ページ数は310ページで、前回より約8%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第6学年～ 「数と計算」は93ページ、「図形」は56ページ、「変化と関係」は44ページ、「データの活用」は34ページであり、総ページ数は281ページで、前回より約8%増となっている。(判型はB5判)</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 「単元プロローグ」で児童が課題を見いだす様子を例示したり(全学年)、「いかしてみよう」で学習したことを日常生活に活用する活動を取り上げたり(全学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「学びのとびら」で問題解決の過程を可視化したり(第2～6学年)、「算数で読みとこう」で主体的に関わることができる教材を取り上げたり(第4～6学年)するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 第1学年の第一分冊をA4判とし、ノートの機能を備えたり(第1学年)、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、概数の学習で札幌市から旭川市までの距離を概数で表した問題や旭山動物園の写真を扱う(第4学年)とともに、北海道に関わる文字や数値、写真等を扱っている(第3～6学年)。</p> <p>○ ICTの活用については、スクラッチをベースにプログラミング的思考を育むプログラミング教材を扱う(第5～6学年)とともに、デジタル教材を活用して効果的に学習を進められるようデジタルコンテンツの工夫がなされている(全学年)。</p> <p>○ 小・中連携については、巻末の「おもしろ問題にチャレンジ」(第4～6学年)の一部や「算数卒業旅行 中学校体験入学コース」(第6学年)で中学校につながる発展的な内容を扱い、滑らかな接続への配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○ 既習の学習内容を手掛かりに、進んで問題を解決しようとする態度を育成することができるよう、巻末の「ふりかえりコーナー」で既習の学習内容を明示する(第2～6学年)とともに、巻頭の「学びのとびら」(全学年)で問題解決的な学習が展開できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 根拠を明確にして説明する力を育むことができるよう、登場人物による吹き出しで数学的な見方・考え方を明示し、見方・考え方を育む練習問題を適宜設定する(全学年)とともに、学年を通していくつかの場面で設定した「今日のふかい学び」で数学的活動を明示する(全学年)工夫がなされている。</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう、学習内容を踏まえた練習問題を適宜設定し、単元末の「たしかめよう」で身に付けた知識・技能を明確にする(全学年)とともに、適宜設定された「おぼえているかな」や巻末の「学年のまとめ」で補充問題を掲載し(全学年)、知識や技能の熟達に配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 第1学年から第5学年までは分冊、第6学年は1冊で構成されている。</p>

観 点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	4・大日本		第1学年	算数 103	たのしいさんすう1ねん
			第2学年	算数 203	たのしい算数2年
			第3学年	算数 303	たのしい算数3年
			第4学年	算数 403	たのしい算数4年
			第5学年	算数 503	たのしい算数5年
			第6学年	算数 603	たのしい算数6年
取扱内容					<p>○ 数と計算については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 水槽に入れる魚の数を数えたり、式と具体的な場面を関連付けたりする活動を通して、整数の加法や減法の意味を理解するとともに、計算の仕方を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 乗り物に乗っている人数を求めたり、求める式を立てたりする活動を通して、乗法が用いられる場合とその意味を理解するとともに、計算の仕方を探る力を育成する。</p> <p>第3学年～ いちごを同じ数ずつ分けたり、クッキーを何人に分けられるかを求めたりする活動を通して、整数の除法の意味を理解するとともに、計算の仕方を探る力を育成する。</p> <p>第4学年～ 2つのバケツに入った水の量の合計を求めたり、ペットボトルの水の量を求めたりする活動を通して、小数や分数の意味を理解するとともに、計算の仕方を探る力を育成する。</p> <p>第5学年～ リボンの代金を求める式を考えたり、木の棒1mの重さを求めたりする活動を通して、小数の乗法や除法の計算の意味を理解するとともに、計算の仕方を探る力を育成する。</p> <p>第6学年～ ペンキで塗る板の面積を求める式を考えたり、針金の重さや長さの求め方を考えたりする活動を通して、分数の乗法や除法の計算の意味を理解するとともに、計算の仕方を探る力を育成する。</p> <p>○ 図形については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 似ている形を集めたり、色板でいろいろな形を作ったりする活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、形の特徴を捉え、形の構成を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 紙を折って長方形の特徴を調べたり、紙を切って正方形を作ったりする活動を通して、基本的な図形の内容を理解するとともに、平面図形の特徴を捉え、考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ いくつかの三角形を仲間分けしたり、コンパスを使って二等辺三角形をかいたりする活動を通して、基本的な図形の内容を理解するとともに、平面図形の特徴を捉え、考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ いくつかの四角形を仲間分けしたり、平行四辺形のかき方を説明したりする活動を通して、平面図形を理解するとともに、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ 合同な図形を探したり、合同な三角形のかき方を説明したりする活動を通して、図形の意味と性質を理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 複数の図形を仲間分けしたり、2つの図形が同じ形といえる理由を説明したりする活動を通して、図形の意味を理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、考察する力を育成する。</p> <p>○ 測定については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 2本の鉛筆の長さを比べたり、ペットボトルの水の量を比べたりする活動を通して、数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに、量の大きさの比べ方を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ しおりの長さの測り方を考えたり、はがきの横と縦の長さを測ったりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成する。</p> <p>第3学年～ のりとはさみの重さを比べたり、はかりを使って大豆の重さを測ったりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成する。</p> <p>○ 変化と関係については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p>

	<p>第4学年～ 表から変化の様子を読み取ったり、水の減り方をグラフに表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ ドッジボールの成績を比べたり、電車の乗車率の変化を考えたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 紙の重さから枚数を求める方法を考えたり、印刷と枚数の関係を調べたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力を育成する。</p> <p>○ データの活用については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 野菜の絵を種類ごとに縦に並べたり、個数の分だけ色を塗ったりする活動を通して、量の大きさを簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともに、データの個数に着目して捉える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 育てたい野菜のカードの数を表に表したり、グラフから分かることを考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴に着目して考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ 遊びたい遊びの種類を表に表したり、グラフから分かることを考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴に着目して考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ 気温の変化をグラフに表したり、2つのグラフを比べたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ グラフから傾向を捉えたり、海外の国や地域へ行った日本人の人数をグラフに表したりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 本の貸出冊数のデータを整理したり、データの特徴を表す代表値を考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して批判的に考察する力を育成する。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 加法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、和が10より大きい数になる加法について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 2位数の加法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、計算の仕方について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～ 乗法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、2位数をかける乗法の計算の仕方について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第4学年～ 除法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、2位数を1位数で割る除法について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5学年～ 平面図形の性質の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、四角形の内角の和が360度となる理由について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第6学年～ 分数の乗法、除法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、計算の仕方について考え、考えの相違点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 個数や順番を数える学習の後に、1位数の加法や減法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 2位数の加法や減法の学習の後に、乗法が用いられる場合とその意味の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 1位数に2位数をかける乗法の学習の後に、除法が用いられる場合とその意味の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 2位数の除法の学習の後に、小数の乗法や除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 小数の乗法や除法の学習の後に、異分母の分数の加法や減法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 分数の乗法の学習の後に、分数の除法の意味の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>

	<p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「数と計算」は124ページ、「図形」は10ページ、「測定」は17ページ、「データの活用」は4ページであり、総ページ数は177ページで、前回より約17%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第2学年～ 「数と計算」は132ページ、「図形」は17ページ、「測定」は37ページ、「データの活用」は7ページであり、総ページ数は243ページで、前回より約10%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第3学年～ 「数と計算」は141ページ、「図形」は25ページ、「測定」は28ページ、「データの活用」は16ページであり、総ページ数は263ページで、前回より約15%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第4学年～ 「数と計算」は155ページ、「図形」は69ページ、「変化と関係」は14ページ、「データの活用」は18ページであり、総ページ数は287ページで、前回より約13%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第5学年～ 「数と計算」は79ページ、「図形」は81ページ、「変化と関係」は38ページ、「データの活用」は23ページであり、総ページ数は289ページで、前回より約17%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第6学年～ 「数と計算」は52ページ、「図形」は49ページ、「変化と関係」は34ページ、「データの活用」は30ページであり、総ページ数は269ページで、前回より約13%増となっている。(判型はB5判)</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 「ふくろう先生のなるほど算数教室」で興味・関心を高める教材を取り上げたり(第3～6学年)、「算数たまてばこ」で生活と結び付ける活動を取り上げたり(全学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「算数まなびナビ」で学習の進め方を例示したり(全学年)、単元の導入で児童自身が問題や疑問を見いだす様子を例示したり(全学年)するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 他教科の学習と関連した題材にはリンクマークを付けたり(全学年)、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、北海道の面積など、北海道に関わる文字や数値、写真等を扱っている(第2, 4, 5学年)。</p> <p>○ ICTの活用については、発達段階に応じてプログラミング的思考を育む「プログラミングに挑戦」を扱う(全学年)とともに、デジタル教材を活用して効果的に学習を進められるようデジタルコンテンツの工夫がなされている(全学年)。</p> <p>○ 小・中連携については、目次で今後の学習とのつながりを明示する(全学年)とともに、巻末の「中学校の数学ではこんなことを学ぶよ」(第5～6学年)や「数学の世界へ」(第6学年)で中学校につながる発展的な内容を扱い、滑らかな接続への配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○ 既習の学習内容を手掛かりに、進んで問題を解決しようとする態度を育成することができるよう、巻末の「ひと目でわかる!前学年までのまとめ」で既習の学習内容を明示する(第2～6学年)とともに、巻頭の「算数まなびナビ」(全学年)で問題解決的な学習が展開できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 根拠を明確にして説明する力を育むことができるよう、「ひらめきアイテム」として数学的な見方・考え方を明示し、巻末に「ひらめきアイテム集」としてまとめるページを設ける(第2～6学年)とともに、学年を通していくつかの場面で設定した「じっくりふかく学び合おう」で数学的活動を明示する(全学年)工夫がなされている。</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう、学習内容を踏まえた練習問題を適宜設定し、単元末の「たしかめ問題」で身に付けた知識・技能を明確にする(全学年)とともに、巻末の「プラス・ワン」で補充問題を掲載し(全学年)、知識や技能の熟達に配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 全学年1冊で構成されている。</p>

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		11・学図		第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	算数 104, 算数 105 算数 204, 算数 205 算数 304, 算数 305 算数 404, 算数 405 算数 504, 算数 505 算数 604, 算数 605
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 数と計算については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 花瓶に入れる花の数を数えたり、駐車場に残った車の台数を求めたりする活動を通して、整数の加法や減法の意味を理解するとともに、計算の仕方を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 身の回りからかけ算の式で表せる場面を探したり、一円玉を積み重ねて九九の表を作ったりする活動を通して、乗法が用いられる場合とその意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ あめを同じ数ずつ分けたり、わり算の式になる問題を作ったりする活動を通して、整数の除法の意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ やかんに入れた水の量の表し方を考えたり、ジュースの量を求めたりする活動を通して、小数や分数の意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ 鉄の棒の重さを求めたり、ジュース1Lの代金の求め方を考えたりする活動を通して、小数の乗法や除法の計算の意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ ペンキで塗る塀の面積を求める式を考えたり、牛乳を飲む回数の求め方を考えたりする活動を通して、分数の乗法や除法の計算の意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>○ 図形については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ いろいろな形の物をころがしたり、ロボットや車を作ったりする活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、形の特徴を捉え、形の構成を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 動物を囲んだ形を仲間分けしたり、紙を折って辺の長さを比べたりする活動を通して、基本的な図形の概念を理解するとともに、平面図形の特徴を捉え、考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ いろいろな長さのストローで三角形を作ったり、三角形を仲間分けしたりする活動を通して、基本的な図形の概念を理解するとともに、平面図形の特徴を捉え、考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ 地図記号から平行な直線を見付けたり、身の回りから台形や平行四辺形を探したりする活動を通して、平面図形を理解するとともに、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ 合同な三角形を探したり、対応する辺や角を調べたりする活動を通して、図形の意味と性質を理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 拡大図や縮図をかいいたり、地図から実際の距離を考えたりする活動を通して、図形の意味を理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、考察する力を育成する。</p> <p>○ 測定については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 2本のひもの長さを比べたり、ハンカチの広さを比べたりする活動を通して、数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに、量の大きさの比べ方を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 長さを測る道具を作ったり、消しゴムの長さを測ったりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成する。</p> <p>第3学年～ 文房具を重い順番に並べたり、かさと同じで素材のちがう物の重さを比べたりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成する。</p> <p>○ 変化と関係については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p>				

	<p>第4学年～ 階段の段数と高さの関係を表に表したり、水の増え方をグラフに表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ 市と町の混み具合を比べたり、二酸化炭素の排出量をグラフに表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 水の量と深さの関係を調べたり、2つの比例のグラフを比べたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力を育成する。</p> <p>○ データの活用については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 果物の数を調べたり、ペットボトルのふたの数を整理して数えたりする活動を通して、量の大きさを簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともに、データの個数に着目して捉える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 3月の天気を表に表したり、抜けた乳歯の本数を表すグラフから分かることを考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴に着目して考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ 通った自動車の種類を表に表したり、保健室に来た人数を表したグラフを読み取ったりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴に着目して考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ 月別気温のグラフから情報を捉えたり、体温の変化のグラフの工夫を考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ 交通事故の原因別人数をグラフに表したり、グラフから分かることを考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 反復横跳びの結果のデータから代表値を求めたり、データから分かることを考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して批判的に考察する力を育成する。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 加法、減法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、具体的な場面で探した数量による問題づくりについて考え、作った問題などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 減法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、誤答の間違え方について考え、計算の留意点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～ 乗法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、並んだおはじきの数の求め方について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第4学年～ 折れ線グラフの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、グラフから読み取れることについて考え、読み取りが正しいかどうかなどについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5学年～ 平面図形の面積の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、面積を求める公式の「$\div 2$」の表す意味について考え、考えの相違点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第6学年～ 比の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、1000人分のカレーを作るときに材料の量などについて考え、解決方法などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 個数を比べる学習の後に、数の合成や分解の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ まとめて数える学習の後に、十進位取り記数法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 加法や減法、乗法、除法の学習の後に、長さや重さの単位と測定の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 除数が1位数の除法の学習の後に、除数が2位数の除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 小数の乗法や除法の学習の後に、分数の加法や減法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 分数の乗法や除法の学習の後に、比の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>

	<p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「数と計算」は114ページ、「図形」は13ページ、「測定」は13ページ、「データの活用」は4ページであり、総ページ数は196ページで、前回より約29%増となっている。(判型はA B判)</p> <p>第2学年～ 「数と計算」は117ページ、「図形」は18ページ、「測定」は27ページ、「データの活用」は7ページであり、総ページ数は287ページで、前回より約21%増となっている。(判型はA B判)</p> <p>第3学年～ 「数と計算」は110ページ、「図形」は14ページ、「測定」は22ページ、「データの活用」は13ページであり、総ページ数は299ページで、前回より約12%増となっている。(判型はA B判)</p> <p>第4学年～ 「数と計算」は105ページ、「図形」は62ページ、「変化と関係」は16ページ、「データの活用」は18ページであり、総ページ数は323ページで、前回より約18%増となっている。(判型はA B判)</p> <p>第5学年～ 「数と計算」は71ページ、「図形」は63ページ、「変化と関係」は30ページ、「データの活用」は18ページであり、総ページ数は331ページで、前回より約14%増となっている。(判型はA B判)</p> <p>第6学年～ 「数と計算」は38ページ、「図形」は39ページ、「変化と関係」は25ページ、「データの活用」は25ページであり、総ページ数は293ページで、前回より約12%増となっている。(判型はA B判)</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 日本の自然や伝統文化等を学習の素材として取り入れたり(全学年)、ページの左側に「～したいな」などの児童の視点に立った言葉で表したり(全学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ ページの右側に問題の解決に必要な数学的な見方・考え方を示したり(全学年)、学習のめあてが疑問や話し合いの中から出てくるように工夫したり(全学年)するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 各学年末の「今の自分を知ろう！」でパフォーマンス評価の考えを取り入れ、自己評価ができるようにしたり(全学年)、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、北海道の面積や札幌時計台の写真など、北海道に関わる文字や数値、写真等を扱っている(第2～6学年)。</p> <p>○ ICTの活用については、発達段階に応じたロボットを動かす独自のプログラミング教材を扱う(全学年)とともに、デジタル教材を活用して効果的に学習を進められるようデジタルコンテンツの工夫がなされている(全学年)。</p> <p>○ 小・中連携については、学習内容を踏まえて設定された「なるほど算数」(第4～6学年)の一部や別冊「中学校へのかけ橋」で中学校につながる発展的な学習内容を扱い、滑らかな接続への配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○ 既習の学習内容を手掛かりに、進んで問題を解決しようとする態度を育成することができるよう、登場人物による吹き出しで既習とのつながりを明示する(全学年)とともに、ページの左側に学び方がわかる表記を示し(全学年)、問題解決的な学習が展開できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 根拠を明確にして説明する力を育むことができるよう、「算数で見つきたい考え方モンスター」を登場させ数学的な見方・考え方を明示する(全学年)とともに、学年を通していくつかの場面で設定した「アクティブ!!」で、個人、グループ、全体で考える等の話し合いの段階を明示する(全学年)工夫がなされている。</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう、学習内容を踏まえた練習問題を適宜設定し、単元末の「できるようになったこと」で身に付けた知識・技能を明確にする(全学年)とともに、巻末の「ほじゅう問題」で補充の問題を掲載し(全学年)、知識や技能の熟達に配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 第1学年から第5学年までは分冊、第6学年は1冊で構成されている。</p>

観 点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		17・教出		第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	算数 106 算数 206, 算数 207 算数 306, 算数 307 算数 406, 算数 407 算数 506 算数 606
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標、内容 等	<p>○ 数と計算については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 葉の枚数を数えたり、残ったまつぼっくりの数の求め方を考えたりする活動を通して、整数の加法や減法の意味を理解するとともに、計算の仕方を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 乗り物に乗っている人数を求めたり、おはじきを使ってかけ算に表したりする活動を通して、乗法が用いられる場合とその意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ クッキーを何袋に分けられるのかを求めたり、いちごを同じ数ずつ分けたりする活動を通して、整数の除法の意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ ペットボトルに入った水の量の表し方を考えたり、紅茶と牛乳を合わせた量を求めたりする活動を通して、小数や分数の意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ リボンの代金を求める式を考えたり、棒1mの重さを求めたりする活動を通して、小数の乗法や除法の計算の意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 棒の重さを求める式を考えたり、2本のリボンの長さを比べたりする活動を通して、分数の乗法や除法の計算の意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>○ 図形については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ いろいろな形の箱を組み合わせたり、ストローで三角形を作ったりする活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、形の特徴を捉え、形の構成を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 動物を直線で囲んだり、紙を切って四角形や三角形を作ったりする活動を通して、基本的な図形の概念を理解するとともに、平面図形の特徴を捉え、考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ ストローで作った三角形を分類したり、コンパスを使って三角形をかいたりする活動を通して、基本的な図形の概念を理解するとともに、平面図形の特徴を捉え、考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ 平行四辺形のかき方を考えたり、コンパスを使ってひし形をかいたりする活動を通して、平面図形を理解するとともに、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ 合同な四角形を探したり、合同な三角形をかいたりする活動を通して、図形の意味と性質を理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 縮尺の異なる複数の写真を比べたり、縮図から実際の長さを求めたりする活動を通して、図形の意味を理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、考察する力を育成する。</p> <p>○ 測定については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 2本の鉛筆の長さを比べたり、布の広さを比べたりする活動を通して、数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに、量の大きさの比べ方を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ しおりの長さを比べたり、はがきの横と縦の長さを測ったりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成する。</p> <p>第3学年～ スポンジと電池の重さを比べたり、筆箱の重さを測ったりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成する。</p> <p>○ 変化と関係については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p>				

	<p>第4学年～ 長方形の横と縦の長さの関係を表をもとに考えたり、グラフに表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ プールの混み具合を考えたり、人口密度を求めたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 水を入れたときの時間と深さの関係を調べたり、式に表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力を育成する。</p> <p>○ データの活用については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ あさがおを色ごとに整理したり、野菜の個数を○で表したりする活動を通して、量の大きさを簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともに、データの個数に着目して捉える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 育てたい野菜の種類を表に表したり、グラフから分かることを考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴に着目して考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ 通った乗り物の種類をグラフに表したり、自由研究のテーマを表にまとめたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴に着目して考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ 気温の変化を表に表したり、変化の様子を調べたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ ももの収穫量を表に整理したり、割合を比べたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 読んだ本の冊数と人数の関係を調べたり、グラフに表したりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して批判的に考察する力を育成する。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 加法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、加法のよりよい計算の仕方について考え、10のまとまりを用いる意味などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 2位数の加法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、既習の加法の計算との違いについて考え、位ごとに計算する意味などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～ 時刻と時間の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、既習の問題との違いについて考え、考え方の相違点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第4学年～ 除法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、既習の計算の活用について考え、十の位から計算する意味などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5学年～ 立体図形の体積の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、面積の学習を活用する方法について考え、考えの相違点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第6学年～ 比例の学習において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、10のまとまりを基に解決の方法について考え、倍数を基にした考え方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・ 排列、 分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 数の合成や分解の学習の後に、2位数の表し方の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 十を単位としてみられる数の加法や減法の学習の後に、2位数の加法や減法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 分数の加法や減法の学習の後に、小数の加法や減法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 四則計算の結果の見積りの学習の後に、小数の乗法や除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 約数や倍数の学習の後に、分数の加法や減法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 文字を用いた式の学習の後に、比例の関係や反比例の関係の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>

	<p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「数と計算」は117ページ、「図形」は16ページ、「測定」は16ページ、「データの活用」は4ページであり、総ページ数は180ページで、前回より約7%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第2学年～ 「数と計算」は138ページ、「図形」は22ページ、「測定」は38ページ、「データの活用」は5ページであり、総ページ数は279ページで、前回より約16%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第3学年～ 「数と計算」は139ページ、「図形」は28ページ、「測定」は34ページ、「データの活用」は17ページであり、総ページ数は298ページで、前回より約16%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第4学年～ 「数と計算」は140ページ、「図形」は74ページ、「変化と関係」は16ページ、「データの活用」は26ページであり、総ページ数は346ページで、前回より約21%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第5学年～ 「数と計算」は84ページ、「図形」は88ページ、「変化と関係」は46ページ、「データの活用」は22ページであり、総ページ数は308ページで、前回より約12%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第6学年～ 「数と計算」は50ページ、「図形」は54ページ、「変化と関係」は34ページ、「データの活用」は30ページであり、総ページ数は274ページで、前回より約15%増となっている。(判型はB5判)</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 授業開きの特設教材で問題解決の楽しさを味わうことを促したり(第2～6学年)、「広がる算数」で児童の興味・関心を高める探究的な教材を掲載したり(第4～6学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「主体的・対話的で深い学びのモデルページ」で学習の進め方を示したり(全学年)、「算数のミカタ」で数学的な見方を促したり(全学年)するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 典型的な誤答の見られる問題に「考えるヒント」を掲載し、解決の着眼点を与えたり(第2～6学年)、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、三角形の学習でツインハーブ橋の写真(第3学年)や垂直と平行の学習で旭川駅周辺の写真と地図を比べる内容(第4学年)を扱うとともに、北海道に関わる文字や数値、写真等を扱っている(全学年)。</p> <p>○ ICTの活用については、正多角形の作図でプログラミング的思考を育む独自開発のプログラミングツールを扱う(第5学年)とともに、デジタル教材を活用して効果的に学習を進められるようデジタルコンテンツの工夫がなされている(全学年)。</p> <p>○ 小・中連携については、学習内容を踏まえて設定されたコラムの一部(第5～6学年)や巻末の「数学へのとびら」(第6学年)で中学校につながる発展的な学習内容を扱い、滑らかな接続への配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○ 既習の学習内容を手掛かりに、進んで問題を解決しようとする態度を育成することができるよう、巻末の「学びのマップ」で既習の学習内容を明示する(第2～6学年)とともに、問題発見・解決の過程を「はてな?」、「なるほど!」、「だったら!?’の吹き出しで示し(全学年)、問題解決的な学習が展開できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 根拠を明確にして説明する力を育むことができるよう、登場人物による吹き出しで数学的な見方・考え方を明示する(全学年)とともに、巻末の「算数を使って考えよう」で他者の説明をもとに発展させて説明しなおしたり、不十分な説明を修正・改善したりする活動を設定する(第2～6学年)工夫がなされている。</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう、学習内容を踏まえたたしかめ問題や練習問題を適宜設定し、単元末の「ふり返ろう」「たしかめよう」で身に付けた知識・技能を明確にする(全学年)とともに、巻末の「学年のまとめ」で補充の問題を掲載し(全学年)、知識や技能の熟達に配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 第2学年から第4学年までは分冊、第1学年、第5学年及び第6学年は1冊で構成されている。</p>

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		61・啓林館		第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	算数 108 算数 208, 算数 209 算数 308, 算数 309 算数 408, 算数 409 算数 508 算数 608
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標, 内容等	<p>○ 数と計算については, 次のような学習活動を取り上げ, 目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 石の上のかえるの数を数えたり, 木に残った柿の数を求めたりする活動を通して, 整数の加法や減法の意味を理解するとともに, 計算の仕方を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 乗り物に乗っている人数を求めたり, かけ算になる問題を作ったりする活動を通して, 乗法が用いられる場合とその意味を理解するとともに, 計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ いちごを等分する方法を考えたり, わり算になる問題カードを作成したりする活動を通して, 整数の除法の意味を理解するとともに, 計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ サイクリングの道のりを求めたり, テープの長さを求めたりする活動を通して, 小数や分数の意味を理解するとともに, 計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ リボンの代金を求めたり, ひも1mの代金を求めたりする活動を通して, 小数の乗法や除法の計算の意味を理解するとともに, 計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ ペンキで塗る壁の面積を求めたり, リボンの長さを求めたりする活動を通して, 分数の乗法や除法の計算の意味を理解するとともに, 計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>○ 図形については, 次のような学習活動を取り上げ, 目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 形を写し取ったり, 色板でいろいろな形を作ったりする活動を通して, 図形についての感覚を豊かにするとともに, 形の特徴を捉え, 形の構成を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 紙を切って正方形を作ったり, 色紙を敷き詰めて模様を作ったりする活動を通して, 基本的な図形の概念を理解するとともに, 平面図形の特徴を捉え, 考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ いくつかの三角形を仲間分けしたり, コンパスを使って二等辺三角形をかいたりする活動を通して, 基本的な図形の概念を理解するとともに, 平面図形の特徴を捉え, 考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ 点をつないで四角形を作ったり, コンパスを使って平行四辺形をかいたりする活動を通して, 平面図形を理解するとともに, 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し, 考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ 図形を切り取って重ね合わせたり, 合同な三角形をかいたりする活動を通して, 図形の意味と性質を理解するとともに, 図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し, 考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 対称な図形をかいたり, 方眼を使って拡大図や縮図をかいたりする活動を通して, 図形の意味を理解するとともに, 図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し, 考察する力を育成する。</p> <p>○ 測定については, 次のような学習活動を取り上げ, 目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 2本の鉛筆の長さを比べたり, 場所取りゲームをしたりする活動を通して, 数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに, 量の大きさの比べ方を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ こぶしを使ってものの長さを比べたり, はがきの横の長さを測ったりする活動を通して, 量の概念を理解するとともに, 量の単位を用いて的確に表現する力を育成する。</p> <p>第3学年～ 三角定規と鉛筆の重さを比べたり, ランドセルの重さを測ったりする活動を通して, 量の概念を理解するとともに, 量の単位を用いて的確に表現する力を育成する。</p> <p>○ 変化と関係については, 次のような学習活動を取り上げ, 目標を達成できるようになっている。</p>				

	<p>第4学年～ 長方形の横と縦の長さの関係を表に表したり、水のかさと重さをグラフに表したりする学習活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ 4つの部屋の混み具合を比べたり、都道府県の面積と人口について考えたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 水の深さと時間の関係を考えたり、針金の長さや重さの関係を考えたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力を育成する。</p> <p>○ データの活用については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 果物を種類ごとに縦に並べたり、個数の分だけ色を塗ったりする活動を通して、量の大きさを簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともに、データの個数に着目して捉える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 好きな遊びを表やグラフに表したり、表やグラフから分かることを考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴に着目して考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ 好きな遊びをグラフに表したり、表やグラフの表し方を工夫したりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴に着目して考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ 気温の変化を表に表したり、2つの都市の気温をグラフに表したりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ グラフから分かることを考えたり、作物別産出額をグラフに表したりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ ソフトボール投げの記録を比べたり、グラフに表したりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して批判的に考察する力を育成する。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 数の比べ方や数え方を考える学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、いろいろなお金の出し方について考え、それぞれの考え方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 乗法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、箱の中のチョコレートの数について考え、図や式を用いた考え方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～ 数量の関係を表す式の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、□に当てはまる数について考え、図や式を用いた考え方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第4学年～ 四則に関して成り立つ性質の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、カードの代金の求め方について考え、図や式を用いた考え方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5学年～ 小数の乗法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、計算の方法について考え、考えのよいところや共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第6学年～ データの考察の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、記録の比べ方について考え、資料の整理の仕方や比べ方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 個数や順番を数える学習の後に、1位数の加法や減法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 2位数の加法や減法の学習の後に、乗法が用いられる場合とその意味の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 除数が1位数の除法の学習の後に、余りを求める除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 2位数の除法の学習の後に、小数の乗法や除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 小数の乗法や除法の学習の後に、異分母の分数の加法や減法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 分数の乗法の学習の後に、分数の除法の意味の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>

	<p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「数と計算」は117ページ、「図形」は12ページ、「測定」は13ページ、「データの活用」は2ページであり、総ページ数は176ページで、前回より約2%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第2学年～ 「数と計算」は143ページ、「図形」は24ページ、「測定」は38ページ、「データの活用」は6ページであり、総ページ数は291ページで、前回より約5%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第3学年～ 「数と計算」は142ページ、「図形」は24ページ、「測定」は26ページ、「データの活用」は16ページであり、総ページ数は296ページで、前回より約3%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第4学年～ 「数と計算」は139ページ、「図形」は66ページ、「変化と関係」は26ページ、「データの活用」は24ページであり、総ページ数は313ページで、前回より約9%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第5学年～ 「数と計算」は84ページ、「図形」は70ページ、「変化と関係」は116ページ、「データの活用」は18ページであり、総ページ数は301ページで、前回より約9%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第6学年～ 「数と計算」は44ページ、「図形」は54ページ、「変化と関係」は42ページ、「データの活用」は28ページであり、総ページ数は297ページで、前回より約3%増となっている。(判型はB5判)</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 「わくわく算数ひろば」で主体的に探究活動に取り組めるよう配慮したり(第3, 5, 6学年), 「学びのサポート」で自主的に取り組むことのできる内容を取り上げたり(第2～6学年)するなど, 児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 児童自らが課題意識や見通しをもって学習に取り組める場面を設定したり(第2～6学年), 各時間の学習に「めあて」や「まとめ」を設定したり(第2～6学年)するなど, 主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末に考えを伝えるときのわかりやすい説明の仕方が掲載されていたり(第2～6学年), ユニバーサルデザイン教科書体を使用したり(全学年)するなど, 使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については, 北海道の面積や札幌時計台の写真など, 北海道に関わる文字や数値, 写真等を扱っている(第1～2, 4～6学年)。</p> <p>○ ICTの活用については, 発達段階に応じてプログラミング的思考を育む「算数ラボ」を扱う(全学年)とともに, 全単元において, デジタル教材を活用して効果的に学習を進められるようデジタルコンテンツの工夫がなされている(全学年)。</p> <p>○ 小・中連携については, 学習内容を踏まえて設定されたコラムの一部(第5～6学年)や巻末の「中学校で学ぶ『数学』の簡単なかきかき」(第6学年)で中学校の学習内容を紹介し, 滑らかな接続への配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<p>○ 既習の学習内容を手掛かりに, 進んで問題を解決しようとする態度を育成することができるよう, 巻末の「前学年までのまとめ」で既習の学習内容を明示する(第2～6学年)とともに, 巻頭の「学習の進め方」(全学年)で問題解決的な学習が展開できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 根拠を明確にして説明する力を育むことができるよう, 登場人物による吹き出しで数学的な見方・考え方を明示する(全学年)とともに, 学年を通していくつかの場面で, 課題に対して自分の考えを説明したり, 複数の考え方について, 数学的に表現し伝え合う活動を設定する(全学年)工夫がなされている。</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう, 学習内容を踏まえた練習問題を適宜設定し, 単元末の「学びのまとめ」や「ふくしゅう」で身に付けた知識・技能を明確にする(全学年)とともに, 適宜設定された「れんしゅう」や巻末の「もっと練習」で補充の問題を掲載し(第2～6学年), 知識や技能の熟達に配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 第2学年から第4学年までは分冊, 第1学年, 第5学年及び第6学年は1冊で構成されている。</p>

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		116・日文		第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	算数 110, 算数 111 算数 210, 算数 211 算数 310, 算数 311 算数 410, 算数 411 算数 510, 算数 511 算数 610
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 数と計算については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 葉の枚数を数えたり、木に残った柿の数を求めたりする活動を通して、整数の加法や減法の意味を理解するとともに、計算の仕方を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 乗り物に乗っている人数を求めたり、テープの長さを比べたりする活動を通して、乗法が用いられる場合とその意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ お菓子を同じ数ずつ分けたり、除法の式になる問題を作ったりする活動を通して、整数の除法の意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ ジュースのかさの表し方を考えたり、リボンの長さを求めたりする活動を通して、小数や分数の意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ リボンの代金を求める式を考えたり、パイプ1mの重さを求めたりする活動を通して、小数の乗法や除法の計算の意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ ペンキで塗る屋根の面積を求める式を考えたり、除法の計算の仕方を考えたりする活動を通して、分数の乗法や除法の計算の意味を理解するとともに、計算の仕方を考察する力を育成する。</p> <p>○ 図形については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 色板を動かして形を変えたり、色の棒を使っていろいろな形を作ったりする活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、形の特徴を捉え、形の構成を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ 紙を折って長方形を作ったり、紙を切って三角形を作ったりする活動を通して、基本的な図形の内容を理解するとともに、平面図形の特徴を捉え、考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ いろいろな長さのストローで三角形を作ったり、三角形を仲間分けしたりする活動を通して、基本的な図形の内容を理解するとともに、平面図形の特徴を捉え、考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ いろいろな形の四角形を作ったり、身の回りにある四角形を探したりする活動を通して、平面図形を理解するとともに、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ 身の回りにある合同な図形を探したり、合同な三角形をかいたりする活動を通して、図形の意味と性質を理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 縮尺の異なる複数の写真を比べたり、拡大図や縮図をかいたりする活動を通して、図形の意味を理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、考察する力を育成する。</p> <p>○ 測定については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 鉛筆の長さを比べたり、ペットボトルの水の量を比べたりする活動を通して、数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに、量の大きさの比べ方を考える力を育成する。</p> <p>第2学年～ はがきの横と縦の長さを測ったり、ものさしを使って直線を引いたりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成する。</p> <p>第3学年～ 三角定規とボールペン、消しゴムの重さを比べたり、ランドセルの重さを測ったりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成する。</p> <p>○ 変化と関係については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p>				

	<p>第4学年～ 長方形や正方形の縦と横の長さの関係を表にまとめたり、言葉の式で表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ シートに座っている人の混み具合を考えたり、人口密度を求めたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ 水を入れたときの時間と深さの関係を調べたり、式に表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力を育成する。</p> <p>○ データの活用については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 動物の数を比べたり、見やすく整理したりする活動を通して、量の大きさを簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともに、データの個数に着目して捉える力を育成する。</p> <p>第2学年～ メダルの数をグラフに表したり、グラフから分かることを考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴に着目して考察する力を育成する。</p> <p>第3学年～ 好きなスポーツの種類を表に表したり、通った乗り物の種類をグラフに表したりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴に着目して考察する力を育成する。</p> <p>第4学年～ 気温の変化を表に表したり、変化の特徴を考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成する。</p> <p>第5学年～ 果物の生産量の割合を調べたり、地域別面積をグラフに表したりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成する。</p> <p>第6学年～ ソフトボール投げの記録を比べたり、グラフに表したりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して批判的に考察する力を育成する。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 加法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、加法のよりよい計算の仕方について考え、式に表しやすい図などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 2位数の加法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、既習の加法の計算との違いについて考え、計算の順序などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～ 乗法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、乗法の計算について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第4学年～ 除法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、既習の除法の計算との違いについて考え、考えの相違点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5学年～ 平面図形の性質の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、四角形の内角の和の求め方について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第6学年～ 分数の乗法、除法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、計算の仕方について考え、いつでも使える計算の仕方になっているかなどについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・ 構成・ 排列、 分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 数の合成や分解の学習の後に、1位数の加法や減法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 乗法九九の学習の後に、乗法に関して成り立つ性質の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 2位数に1位数をかける乗法の学習の後に、2位数に2位数をかける乗法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 四則に関して成り立つ性質の学習の後に、小数の乗法や除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 偶数や奇数の学習の後に、約数や倍数の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 分数の乗法の学習の後に、分数の除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>

	<p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「数と計算」は137ページ、「図形」は13ページ、「測定」は17ページ、「データの活用」は4ページであり、総ページ数は190ページで、前回より約15%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第2学年～ 「数と計算」は126ページ、「図形」は20ページ、「測定」は33ページ、「データの活用」は3ページであり、総ページ数は281ページで、前回より約1%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第3学年～ 「数と計算」は130ページ、「図形」は25ページ、「測定」は26ページ、「データの活用」は17ページであり、総ページ数は294ページで、前回より約3%減となっている。(判型はB5判)</p> <p>第4学年～ 「数と計算」は156ページ、「図形」は66ページ、「変化と関係」は49ページ、「データの活用」は19ページであり、総ページ数は323ページで、前回より約4%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第5学年～ 「数と計算」は73ページ、「図形」は84ページ、「変化と関係」は36ページ、「データの活用」は20ページであり、総ページ数は314ページで、前回より約3%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第6学年～ 「数と計算」は46ページ、「図形」は52ページ、「変化と関係」は34ページ、「データの活用」は34ページであり、総ページ数は281ページで、前回より約6%増となっている。(判型はB5判)</p>
使用上の配慮等	<p>○ 「単元アプローチ」で遊びの要素がある内容を掲載したり(全学年)、「算数アドベンチャー」で数学的な面白さを実感できる内容を掲載したり(第2～6学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「自分でみんなで」で学習の進め方の例示を掲載したり(全学年)、「さあ、算数の学習を始めよう！」で問題解決的な学習の展開例を掲載したり(第2～6学年)するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「算数ノートをつくろう」で児童が考えた過程を適切に示したノートの見本を掲載したり(全学年)、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の配慮等	<p>○ 地域素材については、北海道の面積など、北海道に関わる文字や数値、写真等を扱っている(第2～6学年)。</p> <p>○ ICTの活用については、正多角形の作図でスクラッチを用いてプログラミング的思考を育む教材を扱う(第5学年)とともに、デジタル教材を活用して効果的に学習を進められるようデジタルコンテンツの工夫がなされている(全学年)。</p> <p>○ 小・中連携については、学習内容を踏まえて設定された「なるほど算数」の一部(第5～6学年)や巻末の「もうすぐ中学生」(第6学年)で中学校につながる発展的な学習内容を扱い、滑らかな接続への配慮がなされている。</p>
本市児童の学習の状況等	<p>○ 既習の学習内容を手掛かりに、進んで問題を解決しようとする態度を育成することができるよう、巻末の「前学年までに学習したこと」で既習の学習内容を明示する(第2～6学年)とともに、巻末シートの「学び方ガイド」(第2～6学年)や「自分でみんなで」(全学年)で問題解決的な学習が展開できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 根拠を明確にして説明する力を育むことができるよう、巻末の「算数で使いたいことば・考え方」で数学的な見方・考え方を明示する(第2～6学年)とともに、「カギマーク」で筋道立てて考えたり、考えたことを話し合ったりする着眼点を明示する(全学年)工夫がなされている。</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう、学習内容を踏まえた練習問題を適宜設定し、単元末の「たしかめポイント」で身に付けた知識・技能を明確にする(全学年)とともに、巻末の「算数マイトライ」で補充の問題を掲載し(全学年)、知識や技能の熟達に配慮がなされている。</p>
その他	<p>○ 第1学年から第5学年までは分冊、第6学年は1冊で構成されている。</p>